

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月23日更新

事務事業名	生涯学習講座運営事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	栗木 清智
	施策	10	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	高野 和子
	施策の柱	37	学習の啓発と参加機会の提供			所属班	生涯学習班	(内線)	1506
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 3	事業連番 10794	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	中央公民館及び御代志市民センター公民館で行なっている主催事業で、受講者の要望等を取り入れながら、各種の趣味講座を前期(4月~9月)・後期(10月~3月)で実施している。中央公民館定期講座は、社会教育法第5章公民館でも定義づけられ、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として昭和46年ごろから事業が実施され、対象者(市民)の社会情勢等に伴う、個々のライフスタイルの変化から、求められるニーズも多様化し、講座メニューも変わってきている。
【業務の流れ】	①講座メニューの検討 ②講座内容の決定 ③講師の選定 ④講座案内チラシの作成 ⑤講座生募集・決定 ⑥講座の開催 ⑦講座終了後の評価 ⑧支払い事務 ⑨市民講座学習手帳の作成
【主な予算費目】	報酬(中央公民館長・社会教育指導員・社会教育指導補助員分)、報償費(講師謝礼)、需用費(消耗品費・印刷製本費)、備品修繕費、役務費(切手・ハガキ代)、委託料(パソコン教室)
【意見や要望】	講座の内容について講師側・受講生側双方から様々な要望があっている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	・市民講座、男みがき塾、女性セミナー、ガーデニング教室、英会話教室、着付け教室、陶芸教室、切り絵教室、金融講座、パソコン教室等を実施した。 ・生涯学習主催講座運営委託を熊本YMCAに委託した。	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) ガーデニング、実用書道、料理、着付け、陶芸、英会話、パソコン、健康づくり等の各教室や、女性セミナー、男みがき塾、市民講座等を実施予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 講座	予算の主な増減の理由 ・生涯学習事業の一部外部委託に伴う委託料の増 ・会計年度職員へ制度変更による報酬及び期末勤勉手当等の増
→ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	趣味を通して知識や教養を高め、趣味を通して人と交流できる。 老若男女の活動の場を広げる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア 受講者数 人 → イ
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
趣味講座を通じて人と交流することで、コミュニティの形成が期待される。将来は、この形成されたコミュニティの拡充及び充実に期待をしたい。		9,050

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度実績(決算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	3年度予定	4年度見込	5年度見込	
① 活動指標	ア 講座		47	50	50	48	50	50	50	50	
	イ										
② 対象指標	ア										
	イ										
③ 成果指標	ア 人		513	845	650	620	650	650	650	650	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	1,079	1,319	1,280	1,112	1,280	1,280	1,280	1,280
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	4,622	6,535	6,193	6,051	9,502	7,770	7,770	7,770
		(A) 事業費計	千円	5,701	7,854	7,473	7,163	10,782	9,050	9,050	9,050
		(A)のうち指定経費	千円	1,944	1,944	1,944	1,944	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	1	5	6	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	480	10	600	96	600	600	600	600		
(B) 人件費計	千円	1,898	39	2,390	380	2,390	2,390	2,390	2,390		
トータルコスト(A)+(B)	千円	7,599	7,893	9,863	7,543	13,172	11,440	11,440	11,440		

事務事業名	生涯学習講座運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 講座の受講ニーズを把握するべく、各講座生にアンケート調査を行うなどしているが、講師の確保・日程調整などの兼ね合いが難しい場合がある。
	②2年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、講座数を増やせる状況にはない。感染症収束の見通しがついてから検討することとする。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 地域づくり・人材づくりを図るといった質的向上、より多くの市民が参加できるようにするという数的向上、いずれも意識して進めていく必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成26年度より中央公民館運営事業(女性セミナー)と統合し、平成28年度より出前講座開催事業と統合するなど、すでに統合・連携を行なっている。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費の大部分は講師謝金であり、講師の選定地域を極力市内に求めるなどで削減の余地がある。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 社会教育指導員の退職に伴い外部委託に変更するも、人件費の削減につながっているわけではない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 材料代以外に、受講者より受講料を負担してもらっている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 業務のほとんどは謝金支払いや講師依頼等であり、職員の業務として適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

市民の幅広い要望や傾向を考慮しながら講座・講師の選定を行なっている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>公民館講座として、より地域性を重視した講座(市について学び地域への理解・愛着を深めるもの等)や発展性を含めた講座(受講生が学習内容をより高めて講師やリーダーとなり市に還元する等)を企図したい。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			△	低下			△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			△																		
	低下			△																		
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>限られた予算と人員で市民の要望にどれだけ応えられるのかが課題である。事務局が講座にどこまで関わるのか(事前準備・事後片付け等)も再考の余地がある。</p>																						